

松山櫨便り

第30号

購読
無料

1日・15日発行・櫨に関する情報求ム!
福岡県久留米市田主丸町で活動中!
編集・発行 松山櫨復活委員会
幹事・矢野真由美

耳納山の片隅で失われてしまった櫨紅葉の景観を復活させることを目的に、櫨の素人がまったりとその様子を伝えていく会報です。

ブログ公開中「松山櫨復活奮闘日記」<http://blog.goo.ne.jp/elster/> 連絡先 e-mail : elster@mail.goo.ne.jp
ホームページ「松山櫨復活委員会」(櫨便りのバックナンバーあり) <http://www.webn-design.com/~mhaze/>

櫨蠟でキャンドル その1 櫨蠟業界初の挑戦へ



櫨蠟でキャンドルは 作れないか?

巷にはパラフィン(石油) 蠟によるキャンドルが出回っています。様々なデザインやカラー、匂いつきなど多種多様なキャンドルを見る度に、私は櫨蠟で、あのようなキャンドル型は作れないか、と思うようになりました。

もちろん和ろうそくの形は美しいと思いますが、基本的に棒型と碓型の二種類しかありません。長さが短く、胴まわりが太いキャンドルタイプのものであれば、もつというんなシーンで使うことがで

きるかもしれない。軽い気持ちで、私は荒木製蠟に問い合わせました。その時、本当に思いつきだけの行動でした。しかしその後、荒木製蠟は櫨蠟でキャンドルを作るの試みを独自で続けていました。

キャンドルナイトに

現在、世界中で半年ごとに行われているキャンドルナイトというイベントがあります。これは冬至と夏至の日に2時間電気を消してろうそくで過ごすというものです。07年の夏至より、荒木製蠟のあるみやま市では、パラフィン蠟の代わりに400本の和ろうそくを灯す町おこしイベント「木蠟の里みやまキャンドルナイト」が初めて行われました。

この時、竹を二つに割った底に和ろうそくを入れたそうですが、和ろうそくが倒れるのを防ぐために、下からクギを打って支えなければならず、大変な作業を伴ったそうです。半年ごとに開催される

キャンドルナイトのために、クギの必要のない、胴回りが太く、短いキャンドルを作ることは、荒木製蠟では急務になっていました。

初のキャンドルは できたけど...

キャンドルナイトの後、荒木製の社長から

「長さが短く胴まわりが太いキャンドルタイプのろうそくを作ったので、見てみませんか?」との連絡を受けました。

翌日、みやま市高田町の荒木製蠟本社へ出向き、初のキャンドル

を見てみました。かわいい!

従来の和ろうそくと比べて、身長が低く胴回りが太い、まさしくキャンドル型。でも、初めて作ったせいか、でこぼこしてるし、斜めになっていて芯が傾いているし。見れば見るほど不格好ですが、方向性は間違っていないようです。さっそく期待を込めて初の櫨のキャンドルに火をつけてみると、結構いい感じで明るい光が灯りました。が!

少し時間が経つと、だからだと蠟が横から流れていくではありませんか。流れる蠟は止められませんが、中盤からカップキャンドルみたいに櫨蠟の海になり、最後に芯がポトリと横に傾いて消えてしまいました。

最初楽観的だった私は、この櫨のキャンドルの惨状に落胆してしまいました。櫨蠟でキャンドルを作る。

言うだけなら簡単ですが、それを実行することには、多くの困難さが待ち受けていたのです。続きは次号にて



荒木製蠟が初めて作った櫨蠟のキャンドル

※本会報を許可なく複製・転載すること、または部分的にもコピーすることを禁じます。